



気づき、考え、高め合う「かがみっ子」～行動～

鏡小学校だより

第22号

R7.12.19

文責 桑原 理子



HP <https://es.higo.ed.jp/kagami/>

3・4年生 人権擁護委員さんによる人権教室

11月20日(木)、3年生と4年生を対象に、人権擁護委員さんによる人権教室を行いました。「プレゼント」というDVDを視聴し、本当の友達、本当の友情について考えました。DVDの内容が、身近に起こりがちな子供たちの人間関係や心情を描いたもので、子供たちは自分と重ねながら真剣に考えていました。いじめや差別をなくすために大切な3つの言葉、「相手の気持ちを考える」「いじめをいじめで返さない」「見ているだけはいじめとおなじ」を教えていただきました。人権擁護委員の皆様、今日はありがとうございました！



11月から12月にかけて、すべての学年において後期の人権学習を行っています。いじめや差別は「する側の問題」です。「見ているだけ」もいじめや差別をしている立場と同じです。いじめや差別を決して許さない心を持ち、いじめや差別をなくすための行動ができるよう、大人も子供も一緒に学んでいきましょう。

芸術鑑賞会「安心・安全コンサート」

11月21日(金)に、芸術鑑賞会を行いました。今年度は、熊本県警察音楽隊の皆様をお招きし、「安心・安全コンサート」と題して吹奏楽を鑑賞しました。隊員の方々は現役の警察官で、普段は警察署や交番に勤務しておられるとのことでした。音楽は、週に1回程度、集まって練習されているそうです。お仕事をしながらの演奏活動、すごいなあと思いました。子供たちの大好きな曲を集めたプログラム、大変素晴らしい演奏と楽しい演出に、あっという間の1時間でした。「安心・安全コンサート」というタイトルのとおり、途中で、交通安全のお話があり、「警察官」と「音楽家」という2つのキャリア教育にもつながる内容でもありました。「本物の音楽に触れる」「感動する」ということは、本当に大切なことです。熊本県警察音楽隊の皆様、本当にありがとうございました！



ジャンボリーミッキーのダンスと一緒に踊ったり、音楽隊の演奏に合わせて校歌を歌ったりしました。

フラッグの演技やハンドベルの演奏もありました。

休憩時間もみんな興味津々、近くで楽器を見せてもらいました。

